

政 策 部

政策課

課長 宮尾 穰

事務事業評価票

事務事業名	新卒IJターン定住化促進事業
-------	----------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	新卒IJターン定住化促進事業費

部局名	政策部	課名	政策課	課CD	02100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	4 国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
政策の方向(まちの姿)	1	地域の支え合いを育むまち	主な取組み	OIJUターンや新規就農希望者への支援	
基本施策(個別目標)	311	地域づくりの推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	松本版総合戦略	④	新しい働き方・雇用の創出

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H27～H30
「I・Jターン」となる就職期を控えた大学生に対し、松本での暮らし、働き方の魅力といった情報を配信し、就職活動に向けた支援を行うことで、松本での就職を促し、地域の若者の社会増につなげていくこと。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 企業発見セミナーの開催 就職期を控えた大学生を対象に、松本平の暮らし、働き方の魅力を、実践者の話も踏まえ、セミナーを開催した。 (1) 開催時期 平成30年8月7日 (2) 開催場所 信毎メディアガーデン 1Fホール (3) 参加者 9名
2 インターンセミナーの開催 インターンシップの受け入れに関する説明会を開催し、学生の春期休暇中のインターンシップ参加支援を行った。 (1) 開催時期 平成31年2月4日 (2) 開催場所 イオンモール風庭2F イオンホール (3) 参加者 24名
3 インターンシップ参加支援 インターンシップメニューを用意し、インターンシップ参加を支援した。企業と学生を個々に繋ぐため、情報発信体制も構築し、インターンセミナーから継続した伴走型支援を実施した。地域企業でのインターンシップを通じ、松本地域への実際の就職につなげる機会を創出した。 (1) 開催時期 平成31年2月～3月(学生の春期休暇期間) (2) 参加者 9名

＜現状に対する認識＞
・平成30年度は、新たにインターンシップメニューを用意して松本地域への就職につなげる伴走型支援を実施したところ、参加者から好評を得た。 ・しかしながら、参加者の松本に対する理解・関心は高まってはいるものの、現状では参加者の実際の移住(定住)に至っていない。 ・そこで、移住促進を専門的に担う「まつもと暮らし応援課(H31.4新設)」へ事務移管し、I・J・Uターン支援(移住促進事業)と一体化させて事業効率を高める改善を行う。

＜指標の達成状況＞	総合評価	C			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	移住(定住)に至る参加者(累計) (単位:人)				
指標の設定理由	事業の直接的な結果を測定できるため				
目標値	2	4	7	10	10
実績値	0	0	0		
達成度	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞									
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
① 事業費(千円)	1,520	542	805						
国・県	658	463	683						
利用者負担金									
その他									
一般財源	862	79	122						
② 人件費(千円)	1,154	人工	1,139	人工	1,154	人工		人工	
正規	1,154	0.15	1,139	0.15	1,154	0.15			
嘱託									
合計コスト①+②	2,674	1,681	1,959						
前年度比	—	62.9%	116.5%						

事務事業評価票

部局名	政策部	課名	政策課	課CD	0210000
-----	-----	----	-----	-----	---------

事務事業名	ユニバーサルデザイン推進事業
-------	----------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	ユニバーサルデザイン推進事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H17~

誰もが安全で、安心して暮らすことのできる「ユニバーサルデザインのまちづくり」を推進するため、行政、市民、民間団体、事業者等が協働して、ユニバーサルデザインの考え方の普及を図ること。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 松本市ユニバーサルデザイン推進会議の開催
 - 外部委員による、市実施事業に対する意見聴取
- 広報まつもと特集号による啓発
 - 広報11月号掲載
- 啓発パンフレットの発行
 - 市内全公立小学校4年生へ配布(2,300部)
- 一般社団法人まつもとユニバーサルデザイン研究会への支援
 - 補助金 600,000円
- 講演会開催による理解醸成
 - 参加者
 - 職員、市議会議員及び民間団体 55名
 - 内容
 - 「松本を日本一ユニバーサルデザインな街に」と題した講演と簡単なミニワークショップ

<現状に対する認識>

- 出前講座の申込みがないことから、ユニバーサルデザインに対する市民の関心が薄いことが考えられる。
- ユニバーサルデザインの普及に向け、市民や企業等への更なる意識啓発が必要である。
- 長期的視点で、小学生に向けた意識啓発を継続的に実施していく。
- 松本市ユニバーサルデザイン推進会議では、市の取組みに対しても委員から改善意見が示されており、職員の理解度も高めていく必要がある。

総合評価

<指標の達成状況>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	1,026		876		771		840			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	1,026		876		771		840			
② 人件費(千円)	769	人工	759	人工	769	人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	769	0.1				
嘱託										
合計コスト①+②	1,795		1,635		1,540		840			
前年度比	—		91.1%		94.2%		—			

事務事業評価票

事務事業名	新庁舎建設事業
-------	---------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	新庁舎建設事業費

部局名	政策部	課名	政策課	課CD	02100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	9	基本構想、基本計画推進にあたって	市長公約	公約	10 意欲と情熱をもって、未来志向の行財政運営を進めます
政策の方向(まちの姿)	0	基本構想、基本計画推進にあたって	主な取組み		○新市役所庁舎の検討
基本施策(個別目標)	901	質の高い行政経営の実現	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H28 ~ R7
老朽化、狭隘化等の問題を抱える現庁舎を建て替えることで、将来にわたり、来庁者や職員の安全安心を確保するとともに、継続して行政サービスが提供できる環境を整えること。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 庁内委員会の開催(平成30年度)	(1) 委員会 4回 (2) 幹事会 4回 (3) ワーキングチームによる検討 6チーム
2 市民等の意見聴取	新庁舎建設基本構想及び基本計画の策定に向けて、市民の意見や提案を聴取するため、市民懇話会等を開催 (1) 市民懇話会(計3回) (2) 市民説明会(計6回) (3) 市民ワークショップ(計3回)
3 新庁舎建設基本構想を策定	本市が目指す新庁舎の建設指針となる、基本構想を策定
4 新庁舎建設基本計画の検討	新庁舎の設計と件として、基本構想に掲げる「建設理念」や「基本的な考え方」の実現を図るための方策等を定める、基本計画の検討に着手
5 庁舎建設基金の積立	30年度積立額:402,319千円(基金現在額:2,403,800千円)

＜現状に対する認識＞

・市民等の意見をより丁寧にくみ取る柔軟な対応の結果、幅広い市民意見を得て新庁舎建設基本構想が策定できた。
・今後も、更なる機会を設けて市民からの意見聴取に努めるとともに、より分かりやすい資料作成の工夫が必要と認識
・全庁的な協力とともに、専門的に事業に取り組む推進体制の整備が急務

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	新庁舎建設事業進捗率(基本計画策定後、再度設定)				
指標の設定理由	事業の進捗状況をもって測定できるため				
目標値	3.8%	15.1%	26.4%	37.7%	49.0%
実績値	3.8%	15.1%	26.4%		
達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度				
① 事業費(千円)	1,000,000	1,001,907	405,802	27,610					
国・県									
利用者負担金									
その他									
一般財源	1,000,000	1,001,907	405,802	27,610					
② 人件費(千円)	7,690	人工	7,590	人工	7,690	人工	人工		
正規	7,690	1	7,590	1	7,690	1			
嘱託									
合計コスト①+②	1,007,690	1,009,497	413,492	35,300					
前年度比	—	100.2%	41.0%	—					

事務事業評価票

部局名	政策部	課名	政策課	課CD	0210000
-----	-----	----	-----	-----	---------

事務事業名	負担金
-------	-----

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	9	基本構想、基本計画推進にあたって	市長公約	公約
政策の方向(まちの姿)	0	基本構想、基本計画推進にあたって	市長公約	主な取組み
基本施策(個別目標)	901	質の高い行政経営の実現	5つの重点目標	
—	—	—	—	松本版総合戦略

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

<事業の狙い>

事業計画年度

～

各種協議会等へ加入することで、松本市単独では取組みが困難な事柄などについて、他の自治体や関係団体などと協力して取り組むこと。また、先進自治体の事例や業界の動向など、各種情報を入手する機会を得ること。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- ・松本広域連合
32,478,000円
- ・全国過疎地自立促進連盟
86,400円
- ・全国施行時特例市市長会
50,000円
- ・地方自治研究機構
45,000円
- ・中央東線高速化促進広域期成同盟会
20,000円
- ・大系線利用促進輸送強化期成同盟会
200,000円
- ・篠ノ井線松本地域活性化協議会
192,000円
- ・姫川港整備促進同盟会
15,000円

<現状に対する認識>

- ・協議会等への参加することにより、本市の考えの発信や情報の入手などが可能となっている。
- ・しかしながら、加入継続の意義については、不断の点検を行っていく必要があると認識(姫川港整備促進同盟会は平成30年度を以て脱退)
- ・鉄道の同盟会等近隣地域で構成している団体においては、会の設置目的に沿った効果的かつ効率的な活動となるよう、意見していく。

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	33,382		32,293		32,960		33,086			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	33,382		32,293		32,960		33,086			
② 人件費(千円)	769	人工	759	人工	769	人工		人工		人工
正規	769	0.1	759	0.1	769	0.1				
嘱託										
合計コスト①+②	34,151		33,052		33,729		33,855			
前年度比	—		96.8%		102.0%		—			

事務事業評価票

部局名	政策部	課名	政策課	課CD	0210000
-----	-----	----	-----	-----	---------

事務事業名	行政評価事業
-------	--------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	9	基本構想、基本計画推進にあたって
政策の方向(まちの姿)	0	基本構想、基本計画推進にあたって
基本施策(個別目標)	901	質の高い行政経営の実現
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
市長公約	主な取組み
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	行政評価事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H14 ~

市が実施する各施策・事務事業に対する行政評価や、市民満足度調査によって成果目標や進捗管理指標の達成状況を把握することで、第10次基本計画の着実な推進を図ること。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 内部評価(庁内評価) 全事務事業を対象に内部評価を実施
2 外部評価(市民評価) (1) 市民評価委員(19名)と有識者(3名)を委員とし実施 (2) 市民懇談形式での委員会を実施し、市民目線の客観的な意見を聴取 (3) 6月17日、7月1日、28日の3回実施(内1回は説明会)
3 市民満足度調査 第10次基本計画で実施している各分野の施策の進捗状況を継続的に把握することを目的に実施 (1) 対象 全世代(18歳以上80歳未満の市民) (2) 期間 第1回 平成30年11月1~23日 第2回 平成31年1月18日~2月11日 (3) 対象数 2,400人(回収数:1,309件 回収率:54.5%)

<現状に対する認識>

・平成29年からの3か年で第10次基本計画の全基本施策に対し外部評価を受ける計画が着実に実施できている。なお、令和元年度に全施策の外部評価が完了することから、その後の対応について令和元年度に検討する。
・事務事業評価票の精度を高める仕組みを検討する必要がある。
・新たな総合計画の策定に当たり類似の調査を実施することから、経費等の重複投資を避けるため、令和元年度の市民満足度調査は実施しない。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	外部評価実施基本施策数				
指標の設定理由	事業の進捗状況が直接的に把握できるため。				
目標値	-	14	28	56	-
実績値	-	14	28		
達成度	-	100.0%	100.0%	0.0%	-
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	2,440		2,876		2,598		400			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	2,440		2,876		2,598		400			
② 人件費(千円)	769	人工	2,277	人工	2,307	人工		人工		人工
正規	769	0.1	2,277	0.3	2,307	0.3				
嘱託										
合計コスト①+②	3,209		5,153		4,905		400			
前年度比	-		160.6%		95.2%		-			

事務事業評価票

事務事業名	「健康寿命延伸都市・松本」の創造事業
-------	--------------------

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	「健康寿命延伸都市・松本」の創造事業費

部局名	政策部	課名	政策課	課CD	02100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞

まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすまち
基本施策(個別目標)	111	健康づくりの推進
—	—	—

＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

＜事業の狙い＞

事業計画年度

H21～R2

松本市の基本理念である「健康寿命延伸都市・松本」の創造を全庁をあげて推進していくにあたり、本事業では、周知・啓発や官民一体となった協働の場を設ける取組みによって、「健康寿命延伸都市・松本」の普及を図ること。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 「健康寿命延伸都市・松本」の創造協議会の開催
創造協議会を年3回開催し、関連する取組み等に関する協議を実施
・市内各団体の代表や有識者20名で構成
(うち1回は松本版地方創生総合戦略の取組みに対する検証を目的に、マスコミや金融機関の5名を加えて地方創生拡大版を開催)
- PRの取組み
「健康寿命延伸都市・松本」の更なる普及のためPR活動を実施
(1) ロゴマークが印刷されたピンバッジや名刺台紙の販売
(2) PR用リーフレット増刷(日本語版、中国語版) 計3,800部
(3) 市役所本庁舎玄関前掲揚旗の作成
(4) 松本駅お城口への横断幕掲出
- 市民との協働
・歩いて行ける街の賑わい創出する具体論を考えるワークショップを開催
① 健康をキーワードとした拠点づくり(市街地ウォーキングコース)
② 隙間・空き地と人を繋ぐデザイン(空き地を空き家のデザイン)
③ 遊び心地の良い賑わいの拠点づくり(商店街音楽祭)
・発表の場として「まつもと市民会議2018」をH30.11.17に開催
・市も実行委員会構成員として参加し、負担金を支出して支援

＜現状に対する認識＞

・「健康寿命延伸」が一般用語となり、浸透が図られていると認識
・更なる浸透を図るため、今後もPR活動を継続
・「健康寿命延伸都市・松本」の創造協議会においては、委員の分野構成、世代構成を見直して、より多視点の意見や取組みを引き出したい。

＜指標の達成状況＞

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	松本市の暮らしに満足している市民の割合(%)				
指標の設定理由	第10次基本計画の全体目標				
目標値	更なる上昇	更なる上昇	更なる上昇	更なる上昇	更なる上昇
実績値	88.4%		91.8%		
達成度			達成		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	585		3,767		1,605		760			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	585		3,767		1,605		760			
② 人件費(千円)	1,823	人工	1,807	人工	1,823	人工		人工		人工
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	1,538	0.2				
嘱託	285	0.1	289	0.1	285	0.1				
合計コスト①+②	2,408		5,574		3,428		760			
前年度比	—		231.5%		61.5%		—			

事務事業評価票

事務事業名	県営空港対策事業
-------	----------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	県営空港対策事業費

部局名	政策部	課名	政策課	課CD	02100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち
基本施策(個別目標)	533	戦略的な観光施策の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	6	大胆な観光戦略を起爆剤として、活気ある地域経済を創出します
主な取組み			○信州まつもとと空港の国際化や機能強化の研究
5つの重点目標		5	将来世代のためのハード整備
			松本版総合戦略

<事業の狙い>

事業計画年度	H23～
--------	------

運航会社等への支援を通じて、県内唯一の空の玄関口である信州まつもと空港を活用した観光振興、地域活性化を進める前提となる、航空路線の維持を図ること。また、騒音等の影響がある空港地元地区住民の、空港に対する理解醸成を図ること。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- ネーミングライツ事業
フジドリームエアラインズ(FDA)の機体にロゴ・キャラクターを掲出
- スポンサー支援事業
地元企業・団体がスポンサー事業を活用した広告・宣伝事業を行う経費を支援(スポンサー企業による支援企業数 4社)
- 地元対応
地元地区の地域振興策等への対応及び地区空港対策委員会へ交付金の交付による地元理解の促進
・地元地区空港対策委員会総会、連絡会への参加 4回
・交付金 500千円
- 全国民間空港市町村協議会への参画
・空港フォーラム、事務担当者研修会への参加 2回
- 既存路線の拡充、新規路線開拓事業
県の方針に基づき、既存路線の拡充の他、国内、国際チャーター便の新規路線等について、運航会社等と調整、要望。平成30年度は、新たに札幌丘珠線が就航した。(夏期便・30年度は8月8日～31日)

<現状に対する認識>

・事業を通じて、運航路線維持が図られている。
 ・空港地元住民の一定の理解は得られているが、ヘリコプターの騒音等が増大しており、継続して、地元の声を県へ届けていく必要がある。
 ・平成29年度に命名したFDA11号機のアピールが広く市内外で認知されるよう、令和元年度に張り替えるFDA11号機のデカール(ステッカー)のデザインに反映する。

<指標の達成状況>

	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	信州まつもと空港定期便数(便/日)				
指標の設定理由	路線の維持・拡充の状況を直接的に測定できるため				
目標値	6	6	7	7	7
実績値	6	6	6		
達成度	100.0%	100.0%	85.7%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)	20,748	20,492	19,505	22,240	
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	20,748	20,492	19,505	22,240	
② 人件費(千円)	1,538	人工	1,518	人工	1,538
正規	1,538	0.2	1,518	0.2	1,538
嘱託					
合計コスト①+②	22,286	22,010	21,043	22,240	
前年度比	—	98.8%	95.6%	—	

事務事業評価票

部局名	政策部	課名	政策課	課CD	0210000
-----	-----	----	-----	-----	---------

事務事業名	クラウドファンディング活用促進事業
-------	-------------------

<第10次基本計画の位置付け>

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	10 意欲と情熱をもって、未来志向の行財政運営を進めます
政策の方向(まちの姿)	1	地域資源と人材を活かすまち	市長公約	主な取組み	○積極的な民間との連携と、未来への投資
基本施策(個別目標)	511	創業・事業承継支援の推進	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
—	—	—	松本版総合戦略	④	新しい働き方・雇用の創出

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	クラウドファンディング活用促進事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H30 ~ R1

民間業者の投資型クラウドファンディング活用を支援することで、松本市が有する産業創発力のポテンシャルを発現させ、「健康寿命延伸都市・松本」の創造につながる「経済の健康」づくりを推進すること。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 事業の周知及び活用の斡旋
 - セミナーの開催
市主催セミナー及び県との共催セミナーを開催(参加人数計:29名)
 - 市内金融機関及び商工会議所との連携による事業の斡旋
ア 包括的連携協定を締結している金融機関に対して事業説明会を実施し、取引先に対する活用の斡旋を依頼
イ 商工会議所に対して事業説明を実施し、顧客への提案を依頼
 - 事業周知用ポスター・チラシを活用した周知活動
- 投資型クラウドファンディング組成を業務委託
投資型クラウドファンディング募集サイト運営業者に3件の組成を委託
【主な委託内容】
・事業案の事業性審査及び磨き上げ
・ファンド設計及びコンサルティング
・ファンド募集サイト上のWebページ作成
- 申請事業に対する市による審査の実施
松本市の政策理念との合致等、応募要件を審査(2件)
- 組成件数
1件(信州産そばの生産・加工業者)

<現状に対する認識>

・3件の組成目標に対し、2件の申請、うち1件の組成に留まった。
・申請件数が2件と少なく、本事業に対する民間事業者の認知度向上が課題である。
・民間事業者が資金調達する際、金融機関へ相談するケースが多いと想定されることから、市と連携協定を締結する金融機関との定期的な対話の場を設け、金融機関を通じた事業者へのアプローチを強化する。

総合評価

C

<指標の達成状況>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	活用事業者発掘に向けた金融機関との連絡会議件数				
指標の設定理由	金融機関から事業者に対する斡旋活動の進捗を確認する活動を測れるため				
目標値			3	4	
実績値			2		
達成度			66.7%		
② 成果指標(指標名)	活用事業の件数				
指標の設定理由	事業の直接的な結果を測定できるため				
目標値			3	3	
実績値			1		
達成度			33.3%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)			1,661	3,671	
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源			1,661	3,671	
② 人件費(千円)		人工	人工	人工	人工
正規			1,538	0.2	
嘱託			0		
合計コスト①+②	0	0	3,199	3,671	
前年度比	-	-	-	-	

事務事業評価票

事務事業名	民間企業との共創促進事業
-------	--------------

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	民間企業との共創促進事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度

H30 ~

包括的連携協定に基づき、民間企業との共創による新たな事業創出を検討することによって、行政と民間企業との共創の仕組みを整えること。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 取組内容	(1) 松本市の政策課題と民間企業のビジネスリソースのマッチングにより、事業創出分野を選定 (2) 担当課を交え、事業化の方向性を決定 (3) 支障事案の対応方法の整理など、実施サポート体制を整備
2 検討会の開催	(1) 連携報告会の開催(1回) (2) 事業創出検討会の開催(1回) (3) 事業創出検討打合せ会(5回)
3 検討分野	(1) 木質バイオマスの地産地消化 (2) 松本健康野菜のブランド化 (3) スポーツビジネスの振興 (4) 防災ラジオの導入

＜現状に対する認識＞

・行政と民間企業という違いを乗り越え、双方にとってWin-Winの関係となるために、相互理解を深める必要がある。
・具体的事業の立案を目指し、幅広くアイデアを出し合う仕組みづくりに取り組む。
・民間との共創を専門的に担う組織(部署)が設置されている他市の例も参考に、民間企業からの提案にスピーディーに対応できる体制の整備を検討

部局名	政策部	課名	政策課	課CD	0210000
-----	-----	----	-----	-----	---------

＜第10次基本計画の位置付け＞

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち
基本施策(個別目標)	522	商業の振興
—	—	—

＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞

市長公約	公約	10 意欲と情熱をもって、未来志向の行財政運営を進めます
主な取組み		○積極的な民間との連携と、未来への投資
5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
松本版総合戦略	④	新しい働き方・雇用の創出

＜指標の達成状況＞

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	事業創出分野の累計設定数				
指標の設定理由	設定した創出分野に基づき事業化の検討を行うため				
目標値			5	6	
実績値			4		
達成度			80.0%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 事業費(千円)			108	100	
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源			108	100	
② 人件費(千円)		人工	人工	人工	人工
正規			1,538	0.2	
嘱託					
合計コスト①+②	0	0	1,646	100	
前年度比	-	-	-	-	

まつもと暮らし応援課

課長 武井 厚志

事務事業評価票

部局名	政策部	課名	都市交流課	課CD	02150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	松本暮らし定住化促進事業
-------	--------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち
政策の方向(まちの姿)	1	地域の支え合いを育むまち
基本施策(個別目標)	311	地域づくりの推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	4	国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
主な取組み		OIJUターンや新規就農希望者への支援
5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
松本版総合戦略		⑥コンパクトな都市と賑わいの創出

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	松本暮らし定住化促進事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

18 ~

県内外の若者、子育て世代、団塊世代等を対象に、特に首都圏をはじめとする都会からの移住定住を促進するため、「健康寿命延伸都市・松本」の創造に代表される本市の魅力を発信するとともに、移住定住者の受入体制等の充実を図り、本市への誘引を推進するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 移住希望者からの住居、就職、就農等相談対応 相談件数315件(セミナー、電話、メール等)
- 移住セミナーの開催
松本市単独セミナー、安曇野市・塩尻市合同セミナー、県主催セミナー
個別相談会等の実施
セミナー等開催数 7回
セミナー参加者数 151組 275人
- 移住者数実績
18世帯38人(移住者から本市に報告を受けた件数)
- 情報発信
(1) 随時、移住希望者、相談者等への情報提供、情報発信を行い、継続的な繋がりによる移住定住促進を実施
(2) ホームページ、パンフレット等の活用による定住促進情報の発信
(3) 移住者で創業しているお店等のマップ作成及び創業のお店にパンフ設置

<現状に対する認識>

- 地域との連携による移住者受入体制の構築
- 民間事業者との連携による就職情報の提供、マッチング事業等の検討

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	移住世帯数				
指標の設定理由	事業の成果を直接的に図る数値のため				
目標値	16	16	16	17	18
実績値	14	15	18		
達成度	87.5%	93.8%	112.5%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	688		945		725		18,580			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	688		945		725					
② 人件費(千円)	5,252	人工	6,907	人工	9,891	人工		人工		人工
正規	4,768	0.62	6,907	0.91	9,891	1.31				
嘱託	485	0.17								
合計コスト①+②	5,940		7,852		10,616		18,580			
前年度比	—		132.2%		135.2%		—			

事務事業評価票

部局名	政策部	課名	都市交流課	課CD	02150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	ふるさとまつもと寄附金推進事業
-------	-----------------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち
基本施策(個別目標)	533	戦略的な観光施策の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	6	大胆な観光戦略を起爆剤として、活気ある地域経済を創出します
主な取組み			〇シティプロモーションで松本の魅力を発信
5つの重点目標		3	経済の好循環の創出
松本版総合戦略			③松本製品のブランド化

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	ふるさとまつもと寄附金推進事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

20 ~

ふるさと納税制度を活用し、本市の魅力を発信、寄附金の獲得、ふるさとへの思い、納税に対する意識の向上等を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 実績
寄附件数 704件
寄附金額 18,258,500円
- 2 ふるさと納税を活用した本市の魅力をPR
(1) 寄附者に対し、本市の観光情報、健康寿命延伸の取組み、広報まつもと等を返礼品とともに発送し、本市のPRを実施
(2) ホームページやふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」による情報提供
- 2 ふるさと納税対象団体の認定
総務大臣通知による

<現状に対する認識>

- 1 寄附金の有効活用を図るとともに、寄附金の使途をより具体的に明示するなど、本市の魅力を効果的にPRし、ふるさと寄附金の確保に努める。
2 今後、ふるさと納税制度を活用するためには、ふるさと納税対象団体の指定を総務大臣から指定を受けることが必要になるため、引き続き、国や他都市の動向を注視しながら進める。

<指標の達成状況>

総合評価

B

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	寄附件数				
指標の設定理由	事業の成果を直接的に図る数値のため				
目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
実績値	1,041	815	704		
達成度	104.1%	81.5%	70.4%		
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	5,542		5,898		5,146		5,670			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	5,542		5,898		5,146					
② 人件費(千円)	4,919	人工	2,713	人工	4,226	人工		人工		人工
正規	3,922	0.51	835	0.11	2,869	0.38				
嘱託	998	0.35	1,879	0.65	1,357	0.46				
合計コスト①+②	10,461		8,611		9,372		5,670			
前年度比	—		82.3%		108.8%		—			

広報国際交流課

課長 赤羽 志穂

事務事業評価票

部局名	政策部	課名	広報国際交流課	課CD	02280000
-----	-----	----	---------	-----	----------

事務事業名	広報業務
-------	------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	9	基本構想、基本計画推進にあたって
政策の方向(まちの姿)	0	基本構想、基本計画推進にあたって
基本施策(個別目標)	904	松本の魅力発信力の強化
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	広報業務費

<事業の狙い>

事業計画年度

～

市民の誰もがまちづくりに関心を持ち、主役としてまちづくりに参加できるように、広報まつもと、市ホームページ、ツイッター等SNS及び市政広報番組(テレビ、ラジオ)の内容充実を図り、市政情報の共有化を進めるもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 広報まつもとの充実
 - (1) 巻頭特集の試行
「子どもと若者」に的を絞って関心を持ってもらえるような特集を年2回試行
カラーページ 8月号4頁、31.4月号4頁
 - (2) クイズ&アンケート
広報に対し市民意見の聴取を目的に、クイズ&アンケートを実施4回実施(8月号、10月号、1月号、3月号)
- 2 ホームページの利便性の向上
広報の紙面でQRコードやSNSからのURL表示により、目的のページに直接アクセスできるよう改善
・全体ページアクセス数 H29 ⇒ H30 約35万アクセス増/年
・トップページアクセス数 H29 ⇒ H30 約5万アクセス減/年
- 3 ソーシャルメディアの活用
H31.2 Facebookページ、Instagram運用開始
3 LINE運用開始

<現状に対する認識>

平成29年4月の市ホームページをリニューアルし、アクセシビリティなどシステム面で使いやすさが向上したが、各課の更新頻度や内容の精査など、運用する職員の更なる意識向上も必要。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	市ホームページのアクセス数				
指標の設定理由	研修等の成果を踏まえた情報発信による成果を測定できるため				
目標値	12,000,000	15,500,000	16,000,000	16,500,000	17,000,000
実績値	13,681,113	15,475,115	15,827,415		
達成度	114.0%	99.8%	98.9%		
② 成果指標(指標名)	市ツイッターの利用者数(フォロワー数)				
指標の設定理由	研修等の成果を踏まえた情報発信による成果を測定できるため				
目標値	15,000	16,250	17,500	18,750	20,000
実績値	14,800	16,340	17,650		
達成度	98.7%	100.6%	100.9%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	74,575		89,040		88,869		94,520			
国・県										
利用者負担金										
その他	6,041		7,114		7,450		7,150			
一般財源	68,534		81,926		81,419		87,370			
② 人件費(千円)	47,000	人工	43,730	人工	43,650	人工		人工		人工
正規	38,450	5	37,950	5	37,750	5				
嘱託	8,550	3	5,780	2	5,900	2				
合計コスト①+②	121,575		132,770		132,519		94,520			
前年度比	—		109.2%		99.8%		—			

事務事業評価票

部局名	政策部	課名	都市交流課	課CD	02150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	国際交流推進事業
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち
基本施策(個別目標)	533	戦略的な観光施策の推進
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約
主な取組み	
5つの重点目標	
松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	国際交流推進事業

<事業の狙い>

事業計画年度

～

姉妹・友好都市及び覚書を締結している海外都市等との交流を通じて、相互の文化等に対する理解、地域の国際化に貢献し得る人材の育成を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 台湾・高雄市との交流(H27.7.14 交流の覚書を締結)
 - セイジ・オザワ松本フェスティバルにあわせ、高雄市中学生等の音楽教育旅行の受入、両市中学生等交流事業の実施(8月)
OMF合同演奏会、まちなか演奏、両市中学生による学校交流等を実施
 - 両市間の交流事業等の実施
(松本-福岡-高雄)(3月)
 - 健康・福祉分野において、高雄市病院等の視察、次年度交流事業調整
 - 教育分野において、松本大学と高雄市義守大学等との交流事業調整
 - 観光分野において、両市間の旅行商品造成に向けた意見交換等
- 姉妹都市アメリカ・ソルトレークシティとの交流事業
 - 姉妹提携60周年記念公式訪問団派遣(7月)・・・ソルトレークシティ市長表敬訪問
記念植樹、記念式典
 - 民間訪問団受入(10月)・・・市長表敬訪問、歓迎会等の実施
 - 第38回国際生活スクール(7月)・・・ソルトレークシティでのホームステイ(12名)
- 友好都市廊坊市との交流事業
長野市で開催された日中友好中学生卓球交歓大会に、両市の中学生がペアで参加(8月)
- グリンデルワルト村中学生ホームステイ派遣事業(9月)
市内中学生20名がグリンデルワルト村でホームステイ、学校訪問を行った。
- 松本留学生応援ファミリーの会事業

<現状に対する認識>

各都市との双方向の交流事業を継続的に実施するとともに、市民が事業に参加し、理解が深められるよう情報を発信するなどの取り組みが必要。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)	交流事業数				
指標の設定理由	事業の成果を直接的に図る数値のため				
目標値	6	6	6	5	5
実績値	6	8	8		
達成度	100.0%	133.3%	133.3%		
② 成果指標(指標名)	交流事業実施に伴う来松者及び訪問者数				
指標の設定理由	事業の成果を直接的に図る数値のため				
目標値	200	200	200	200	200
実績値	150	235	163		
達成度	75.0%	117.5%	81.5%		

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	5,343		10,519		12,507					
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	5,343		10,519		12,507					
② 人件費(千円)	14,704	人工	26,137	人工	19,828	人工		人工		人工
正規	11,996	1.56	22,466	2.96	17,969	2.38				
嘱託	2,708	0.95	3,670	1.27	1,859	0.63				
合計コスト①+②	20,047		36,656		32,335		0			
前年度比	—		182.8%		88.2%		—			

中核市推進室

次長 徳永 剣

事務事業評価票

部局名	政策部	課名	中核市推進室	課CD	0250000
-----	-----	----	--------	-----	---------

事務事業名	中核市移行事業
-------	---------

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	9	基本構想、基本計画推進にあたって
政策の方向(まちの姿)	0	基本構想、基本計画推進にあたって
基本施策(個別目標)	901	質の高い行政経営の実現
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	10 意欲と情熱をもって、未来志向の行財政運営を進めます
主な取組み		○中核市、連携中枢都市の研究
5つの重点目標		
松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	中核市移行事業費

<事業の狙い>

事業計画年度

H28 ~

中核市への移行により、自立した主体的な行政運営の強化を図り、更なる市民サービスの向上を目指すもの。
 松本地域の20年、30年先の将来を見据え、各市村のみでは対応できない広域的な課題の解決の解決のためには、松本市がリーダー的役割を担い、松本地域の活性化を目指すもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

県から更なる事務権限の移譲を受け、これまで以上に主体的なまちづくりの推進と市民サービスの向上を図るため、令和3年(2021年)4月1日の移行を目指し、中核市移行に向けた取組みを進めるもの。
 1 国との移行手続きに向けた調整や、県との移譲事務の調整等を実施
 2 移譲事務の引継ぎ方法や、保健所の設置方法を学ぶため、中核市先行市に視察研修を実施
 3 市民への更なる周知を図るため、市民説明会等を実施

<課題>

- 保健所設置や人材の確保・育成、経費の精査等
- 移行の効果の明確化
- 市民周知の不足

<指標の達成状況>

総合評価

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
① 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
指標の設定理由					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
① 事業費(千円)	80		380		425		640			
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	80		380		460		640			
② 人件費(千円)	15,380	人工	25,660	人工	33,150	人工		人工		人工
正規	15,380	2	22,770	3	30,200	4				
嘱託	0	0	2,890	1	2,950	1				
合計コスト①+②	15,460		26,040		33,575		640			
前年度比	—		168.4%		128.9%		—			